

議案第 3 号

愛媛県指定有形文化財及び愛媛県指定天然記念物の指定を次のとおり行うものとする。

令和 8 年 2 月 12 日 提出

愛媛県教育委員会教育長 高 岡 哲 也

1 指定する有形文化財

名 称	所 在 地	所 有 者	員 数
木造不動明王坐像	松山市太山寺町1730番地	松山市太山寺町1730番地 宗教法人太山寺	1 軀
銅板阿弥陀如来像	西条市洲之内甲1426番地	西条市洲之内甲1426番地 宗教法人前神寺	1 面

2 指定する天然記念物

名 称	所 在 地	所 有 者
野間馬	今治市野間甲 8 番地 伊予郡砥部町上原町240番地	今治市別宮町一丁目 4 番地 1 今治市 松山市一番町四丁目 4 番地 2 愛媛県

議案説明

愛媛県文化財保護条例（昭和32年愛媛県条例第11号）第10条第 1 項及び第37条第 1 項の規定に基づき、愛媛県指定有形文化財及び愛媛県指定天然記念物を指定しようとするものである。

1 県指定有形文化財（彫刻）の指定

- | | |
|---------|---|
| 1 種 別 | 有形文化財（彫刻） |
| 2 名称・員数 | <small>もくぞうふどうみょうおうざぞう</small>
木造不動明王坐像 一軀 |
| 3 所在地 | 松山市太山寺町 1730 番地 |
| 4 所有者 | 宗教法人太山寺 |
| 5 解 説 | |

等身を凌駕する大きさを有することから、かつては一堂の本尊として祀られていたと推測される。像高約 102 cm。



木造不動明王坐像

天台系と真言系の混合した図像で、面奥や脚部は大きいものの体軀の奥行きは控えめで、整理された衣文が浅く刻まれることから、平安時代後期の作風を認められ、十一世紀の作とみてよい。

他地域に比べ四国には不動明王像の古像が少なく、本格的な作行きと法量を有する本像の存在は貴重であり、愛媛県指定文化財たりうる価値をもつものといえよう。

2 県指定有形文化財（工芸品）の指定

- | | |
|---------|---|
| 1 種 別 | 有形文化財（工芸品） |
| 2 名称・員数 | <small>どうばん あ み だ にょらいぞう</small>
銅板阿弥陀如来像 一面 |
| 3 所在地 | 西条市洲之内甲 1426 番地 |
| 4 所有者 | 宗教法人前神寺 |
| 5 解 説 | |

前神寺の護摩堂に伝来。総高 36.4×総幅 25.2×最大厚 0.9 cm 弱の銅板に、上半部に定印を結ぶ阿弥陀如来坐像を、下半部に 8 字×11 行の銘記をそれぞれ薄肉に陽鑄している。



銅板阿弥陀如来像

6ヶ所に方形の孔があり、何かに取り付けられたものと思われ、銘記の末尾に永祚 2 年（990）の年紀がある。阿弥陀如来像の作風は 10 世紀末～11 世紀初頃の彫像に近く、銘記の書体もその頃のものとして矛盾しない。蛍光 X 線分析調査の結果、永祚 2 年の作であることを否定する情報は得られなかった。かつて鍍金されていたとみられる。本品は製作年の明らかな平安時代中期の基準作である可能性が高い。なお銘記の内容はいずれも平安時代中期の浄土信仰に関わりのある経典・尊像・真言であることが指摘され、阿弥陀如来を本尊とする前神寺に当初から伝わったことを考えさせる。本品の文化財としての価値は高く、愛媛県指定にふさわしい。

3 県指定天然記念物の指定

- | | |
|-------|---|
| 1 種 別 | 天然記念物 |
| 2 名 称 | ^{の まうま}
野間馬 |
| 3 所在地 | 今治市野間甲 8 番地
(野間馬ハイランド)
伊予郡砥部町上原町 240
(愛媛県立とべ動物園) |
| 4 所有者 | 今治市・愛媛県 |
| 5 解 説 | |



野間馬

野間馬は、日本の在来馬で、近世から近代にかけて瀬戸内海島嶼部や野間地方で飼育され、農作業や柑橘作業、荷物運搬などに利用されたが、農耕や運搬における近代化、機械化により、飼育数も激減した。

野間馬は、奇蹄目ウマ科に属する。体高は 120cm 以下で、体に比べて頭が大きく、ずん胴型の体型が特徴である。体格が小型の割には重い荷物を運ぶことができ、かつ蹄は丈夫で、蹄鉄の装着は不要である。被毛の色は、鹿毛、青毛、芦毛、栗毛がある。

近年の研究により、野間馬は、体格はポニー種と同じ小型であるにもかかわらず、頭蓋骨と副鼻腔の比が大型種と類似しており、野間馬の頭蓋骨がポニー種と異なる解剖学的特徴を持っていることが明らかとなった。

近隣の小学校には野間馬クラブがあり、世話などの体験活動を行っている。

野間馬は、人との歴史や文化にかかわりが深く、在来馬として生物学的にも貴重な動物であることから、愛媛県における稀少な畜養動物として保護されるべきであり、かつ学術的価値が高い。